

開設母体

要件  
文芸・言語専攻

専門科目(文学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS105	総合文学演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	木6	共同利用棟A103	青柳悦子, 加藤百合, 齋藤一, 吉原ゆかり	多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。	2018年度より4年おき開講。
02DS106	総合文学演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木6	共同利用棟A103	青柳悦子, 加藤百合, 齋藤一, 吉原ゆかり	春学期に継続して、多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。	2018年度より4年おき開講。
02DS115	文学理論研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	火5	人社A201	青柳悦子	文学理論を基礎として、博士論文執筆をめざした文学研究法を精錬する	2018年度より4年おき開講。
02DS116	文学理論研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火5	人社A202	青柳悦子	春学期に継続して、文学理論を基礎としながら博士論文執筆をめざした文学研究法を精錬する	2018年度より4年おき開講。
02DS135	文学文化論研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	月3	人社A510	齋藤一	日欧米の重要な批評書を輪読する。批評書が論じている可能な限り作品も読む。なお、欧米の批評書の場合は日本語訳を使用するが、必要に応じて原典も参照する。	2018年度より4年おき開講。
02DS136	文学文化論研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	月3	人社A510	齋藤一	日欧米の重要な批評書を輪読する。批評書が論じている可能な限り作品も読む。なお、欧米の批評書の場合は日本語訳を使用するが、必要に応じて原典も参照する。	2018年度より4年おき開講。
02DS145	文学文化論演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	月4	人社A510	齋藤一	日欧米の重要な批評書を輪読する。批評書が論じている可能な限り作品も読む。なお、欧米の批評書の場合は日本語訳を使用するが、必要に応じて原典も参照する。	2018年度より4年おき開講。
02DS146	文学文化論演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	月4	人社A510	齋藤一	日欧米の重要な批評書を輪読する。批評書が論じている可能な限り作品も読む。なお、欧米の批評書の場合は日本語訳を使用するが、必要に応じて原典も参照する。	2018年度より4年おき開講。
02DS155	文学交流論研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	月2	人社A201	吉原ゆかり	文学交流に関わる初歩的な研究論文(英語・日本語)を読む。Readings in academic articles on cultural exchanges (English and Japanese).	英語・日本語を併用する。Classes are given both in English and Japanese. 2018年度より4年おき開講。
02DS156	文学交流論研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	月2	人社A201	吉原ゆかり	文学交流に関わる中級の研究論文を読む。文学交流に関わる初歩的な研究論文(英語・日本語)を読む。Readings in academic articles on cultural exchanges (advanced) (English and Japanese).	日本語と英語を併用する。Classes are given in English and Japanese. 2018年度より4年おき開講。
02DS165	文学交流論演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	火3	人社A201	吉原ゆかり	文学交流に関わる、基礎的なリサーチと研究の実践を学ぶ。	2018年度より4年おき開講。
02DS166	文学交流論演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	火3	人社A201	吉原ゆかり	文学交流に関わる、より専門的なリサーチと研究の実践を学ぶ。	2018年度より4年おき開講。
02DS173	比較文学研究(3)	1	1.5	1-5	春ABC	木2	人社A206	加藤百合	明治文学研究のための資料を読む。	
02DS178	比較文学演習(3)	2	1.5	1-5	秋ABC	木2	人社A206	加藤百合	明治文学研究のための資料を読む。演習中心	
02DS207	西洋古典学研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	金3	人社A508	秋山学	アリストテレス研究。『ニコマコス倫理学』をギリシア語原典で講読する(継続)。	2018年度より4年おき開講。
02DS208	西洋古典学研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	金3	人社A508	秋山学	アリストテレス研究。『ニコマコス倫理学』をギリシア語原典で講読する(春学期の継続)。	2018年度より4年おき開講。
02DS217	西洋古典学演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	金5	人社A508	秋山学	トマス・アクィナス研究。『神学大全』II-2から枢要徳関連の問題についてラテン語原典で講読する(継続)。	2018年度より4年おき開講。
02DS218	西洋古典学演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	金5	人社A508	秋山学	トマス・アクィナス研究。『神学大全』II-2から枢要徳関連の問題についてラテン語原典で講読する(春学期の継続)。	2018年度より4年おき開講。
02DS227	古典古代学研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	応談	人社A508	秋山学	ルネサンス期文献研究。マキャベリの著作等を、イタリア語原典で講読する。	2018年度より4年おき開講。
02DS228	古典古代学研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	応談	人社A508	秋山学	ルネサンス期文献研究。ロレンツォ・デ・メディチの書簡等を、イタリア語原典で講読する(春学期の継続)。	2018年度より4年おき開講。
02DS237	古典古代学演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	応談	人社A508	秋山学	インド・ヨーロッパ語族古典文献講読。アヴェスター・サンスクリット関連の文献を講読する(継続)。	2018年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS238	古典古代学演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	応談	人社A508	秋山 学	インド・ヨーロッパ語族古典文献講読。アヴェスター・サンスクリット関連の文献を講読する(春学期の継続)。	2018年度より4年おき開講。
02DS247	古典古代学特殊研究I(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	応談	人社A508	秋山 学	聖書学・古典古代学演習。知恵文学関連の文献をテキストにする(ヘブル語原典講読;継続)。	2018年度より4年おき開講。
02DS248	古典古代学特殊研究I(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	応談	人社A508	秋山 学	聖書学・古典古代学演習。知恵文学関連の文献をテキストにする(ヘブル語原典講読;春学期の継続)。	2018年度より4年おき開講。
02DS305	日本文学研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	月4	人社A620	清登 典子	古典籍の文献学的な分析方法の基本を学ぶ。本年は近世期文献を取り上げる。	2018年度より4年おき開講。
02DS306	日本文学研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	月4	人社A620	清登 典子	古典籍の現物調査をおこない、文献学的に分析を行う。本年度は近世期文献を取り上げる。	2018年度より4年おき開講。
02DS315	和漢比較文学研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	火4	人社A620	谷口 孝介	『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本を徹底的に読解し、日本人の『白氏文集』受容の実態を照らし出すことを目指す。	2018年度より4年おき開講。
02DS316	和漢比較文学研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火4	人社A620	谷口 孝介	『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本に基づき、白居易独自の閑適詩の表現を吟味する。	2018年度より4年おき開講。
02DS325	日本古代文学研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	火2	人社A620	谷口 孝介	儒家出身で『句題和歌』を編んだ大江千里の『古今和歌集』入集歌を逐一注解する。詩的言語の注解方法に習熟するとともに『万葉集』から『古今和歌集』に到る古代和歌の表現形成を探究する。	2018年度より4年おき開講。
02DS326	日本古代文学研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火2	人社A620	谷口 孝介	大江千里の『古今和歌集』入集歌を逐一取りあげて注解を施す。とくに諸本の異同に注目することで、古今集歌表現の機微を探究する。	2018年度より4年おき開講。
02DS345	日本中古文学研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	木2	人社A207	吉森 佳奈子	『源氏物語』注釈史を学ぶ。	2018年度より4年おき開講。
02DS346	日本中古文学研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木2	人社A207	吉森 佳奈子	『源氏物語』注釈史を学ぶ。文学史の問題を意識しながら、この作品がどのように理解されようとしたかを具体的に考察する。	2018年度より4年おき開講。
02DS355	日本中古文学演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	木6	人社A207	吉森 佳奈子	『源氏物語』薄雲巻をよむ。青表紙本系諸本と尾州家本系諸本とを見あわせ、古注、旧注の作品理解の基盤を具体的に考察する。	2018年度より4年おき開講。 01B4510と同一。
02DS356	日本中古文学演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木6	人社A207	吉森 佳奈子	『源氏物語』薄雲巻をよむ。文学史の問題を意識し、本文間に異文が生じた経緯を、注釈書の記事から考察することを中心とする。	2018年度より4年おき開講。 01B4511と同一。
02DS395	日本近世文学演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	月5	人社A604	清登 典子	近世文学研究の現状を踏まえて、各自がどのように研究を進めていくかについて発表と討議を行う。	2018年度より4年おき開講。
02DS396	日本近世文学演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	月5	人社A604	清登 典子	近世文学研究の課題と展望を踏まえて、各自の研究テーマをどのように発展させていくかについての発表と討議によって授業を進める。	2018年度より4年おき開講。
02DS405	日本近代文学研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	木3	人社A202	馬場 美佳	明治・大正期を中心に、日本近代文学研究の基礎力・応用力を涵養する。	2018年度より4年おき開講。 01B4360と同一。
02DS406	日本近代文学研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木3	人社A202	馬場 美佳	明治・大正期を中心に、日本近代文学研究の基礎力・応用力を涵養する。	2018年度より4年おき開講。 01B4363と同一。
02DS415	日本近代文学演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	木4	人社B418	馬場 美佳	各自の研究計画に従って作品を選び研究発表を行うこととする。作品解釈を通して研究方法および論文のテーマを明確にすることを旨とする。	2018年度より4年おき開講。
02DS416	日本近代文学演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木4	人社B418	馬場 美佳	各自の研究計画に従って作品を選び研究発表を行うこととする。作品解釈を通して研究方法および論文のテーマを明確にすることを旨とする。	2018年度より4年おき開講。
02DS505	イギリス文学史研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	火5	人社A201	佐野 隆弥	初期近代戯曲研究。シェイクスピアの初期悲劇を中心に、基礎的読解と議論を行う。	2018年度より4年おき開講。
02DS506	イギリス文学史研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火5	人社A201	佐野 隆弥	初期近代戯曲研究。シェイクスピアの初期悲劇を中心に、分析的読解と論文作成を行う。	2018年度より4年おき開講。
02DS515	イギリス文学史演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	火1	人社A617	佐野 隆弥	初期近代英詩研究。16世紀の英詩を中心に、基礎的読解と議論を行う。	2018年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS516	イギリス文学史演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	火1	人社A617	佐野 隆弥	初期近代英詩研究。16世紀の英詩を中心に、分析的読解と論文作成を行う。	2018年度より4年おき開講。
02DS651	アメリカ文学特講I	1	1.0	1-5	春AB	金3	人社A612	宮本 陽一郎	将来の大学教員のための文学教授法。この授業では、20世紀の批評理論の展開を、ペダゴジー(教育方法、教育言説)という観点から俯瞰します。ペダゴジーは、単なる技術論を越えて、1980年代以降の文学理論研究の先端的な主題のひとつとして認知されるようになりました。こうした展開を踏まえながら、文学の研究と教育にとって、教室という空間がどれほど豊かな可能性に開かれたものであるかを、この授業では学びます。将来大学における文学の教育に携わろうとする大学院生のために有益であるのみならず、現在の自らの文学研究方法の意義と歴史的な位置付けを確認する機会にもなるでしょう。テキストは翻訳のあるものを中心とし、アメリカ文学専攻以外の履修者をとくに歓迎します。	2018年度より4年おき開講。
02DS705	フランス文学史研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	水1	人社B409	小川 美登里	20世紀以降の文学作品、批評、思想を中心に知識と理解を深める。	2018年度より4年おき開講。
02DS706	フランス文学史研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	水1	人社B409	小川 美登里	20世紀以降の文学作品、批評、思想を中心に文学史の知識と理解を深める。	2018年度より4年おき開講。
02DS715	フランス文学研究I(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	水2	人社B409	小川 美登里	20世紀以降のテキストを読解し、批評の方法論やアプローチ、解釈の方法などを具体的に学ぶ。	2018年度より4年おき開講。
02DS716	フランス文学研究I(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火2	人社B409	小川 美登里	おもに20世紀以降のテキストを対象として、批評のアプローチの仕方や理論の構築、解釈の可能性などについて学ぶ。	2018年度より4年おき開講。
02DS725	フランス文学研究II(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	木3	人社B410	増尾 弘美	受講者の研究テーマを視野に入れ、テキストを選択して講読する。	2018年度より4年おき開講。
02DS726	フランス文学研究II(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木3	人社B410	増尾 弘美	受講者の研究テーマを視野に入れ、研究文献を分析しつつ読む。	2018年度より4年おき開講。
02DS735	フランス文学特殊研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	木4	人社B410	増尾 弘美	ブルーストと音楽(特にワーグナー)について、研究論文を読んで考察する。	2018年度より4年おき開講。
02DS736	フランス文学特殊研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木4	人社B410	増尾 弘美	ブルーストと音楽について、研究論文を読んで考察する。	2018年度より4年おき開講。
02DS805	ドイツ文学研究I(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	火5	人社A705	相澤 啓一	19世紀以降のドイツ語圏における翻訳論を扱うが、必要に応じて参加者のテーマにあわせた授業を行う。	2018年度より4年おき開講。
02DS806	ドイツ文学研究I(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火5	人社A705	相澤 啓一	1920年代ドイツ文学における政治と文学を扱う。	2018年度より4年おき開講。
02DS815	ドイツ文学研究II(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	火3	人社A513	ヘーゼルハウス、ヘラト	Einf	2018年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS816	ドイツ文学研究II(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火3	人社A513	ヘーゼルハウス、ヘラト	オーストリアや中央ヨーロッパにおけるユダヤ人のドイツ文学:ノーベル賞受賞人Elias Canettiの作品	2018年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS825	ドイツ文学演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	月4	人社A207	相澤 啓一	ドイツ語文献の速読を訓練し、日本語への翻訳を検討する	2018年度より4年おき開講。
02DS826	ドイツ文学演習(3B)	2	1.5	1-5	春ABC	月5	人社A207	相澤 啓一	ドイツ語での研究成果の発信の訓練、また日本語からドイツ語の翻訳の訓練を行う	2018年度より4年おき開講。
02DS835	ドイツ文学特講(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	木3	人社A513	ヘーゼルハウス、ヘラト	The European Refugee Crisis in Literature (Focusing Literary Aspects)	2018年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS836	ドイツ文学特講(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木3	人社A513	ヘーゼルハウス、ヘラト	The European Refugee Crisis and Literature (Focusing Philosophical Aspects)	2018年度より4年おき開講。 ドイツ語で授業。
02DS905	中国文学史研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	木4	人社A620	小松 建男	『世説新語』を読む	2018年度より4年おき開講。
02DS906	中国文学史研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木4	人社A620	小松 建男	『世説新語』を後世の批評を参考にしながら読む。	2018年度より4年おき開講。
02DS925	中国文学研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	木5	人社A620	稀代 麻也子	「序」を読む。	2018年度より4年おき開講。
02DS926	中国文学研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木5	人社A620	稀代 麻也子	「李都尉(従軍)陵」を読む。	2018年度より4年おき開講。
02DS945	中国文学特講(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	木6	人社A620	小松 建男、稀代 麻也子	口頭発表における説得の技術を身につけ、学会発表に向けた準備を行う。	2018年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DS946	中国文学特講(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木6	人社A620	小松 建男, 稀代 麻也子	資料に基づく報告と討議を通して、論文執筆のための文章力を向上させ学会誌投稿の準備をする。	2018年度より4年おき開講。

専門科目(言語学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT105	一般言語学研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	随時		池田 潤, 臼山 利信, 池田 晋	指導教員による研究指導をふまえ、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行うことにより、自分の研究テーマを一般言語学的視座に位置づける。 Based on the regular guidance from one's supervisor, the student makes a formal academic presentation in front of faculty members with diverse background so as to contextualize his research topic in general linguistic perspective.	2018年度より4年おき開講。
02DT106	一般言語学研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	随時		池田 潤, 臼山 利信, 池田 晋	指導教員による研究指導をふまえ、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行うことにより、自分の研究テーマをさらに掘り下げる。 Based on the regular guidance from one's supervisor, the student makes a formal academic presentation in front of faculty members with diverse background so as to dig into his research topic more deeply.	2018年度より4年おき開講。
02DT115	一般言語学演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	木5	人社A517	池田 潤	受講者の関心をふまえて一般言語学に関する論文を選び、演習形式で講読する。 We select papers and/or books in general linguistics based on the interests of participants, and read them critically in the seminar-style setting.	2018年度より4年おき開講。
02DT116	一般言語学演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木5	人社A517	池田 潤	一般言語学に関する論文の講読を継続する。 We continue reading the papers and/or books in general linguistics selected based on the interests of participants.	2018年度より4年おき開講。
02DT125	一般言語学特講A(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	水2	人社A207	臼山 利信	現代ロシア語の諸相を言語形式と機能という観点から洞察する作業を通して、ロシア語の言語的特徴を深く理解していく足掛かりをつくる。また同時に一般言語学的な問題意識を高める一つの契機とする。	2018年度より4年おき開講。
02DT126	一般言語学特講A(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	水2	人社A207	臼山 利信	ポスト・ソヴィエト時代の旧ソ連地域のロシア語圏諸国における言語状況と言語政策について、国内外の新しい優れた研究成果に基づいて検討する。	2018年度より4年おき開講。
02DT175	中国語学演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	水2	人社B510	池田 晋	中国語の連体修飾節をテーマとして、基礎文献を体系的に読み進め、問題点について受講者全員で議論をおこなう。	2018年度より4年おき開講。
02DT176	中国語学演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	水2	人社B510	池田 晋	中国語の連体修飾節をテーマとして、最新の研究文献を読み進め、問題点について受講者全員で議論をおこなう。	2018年度より4年おき開講。
02DT201	応用言語学基礎論A	1	1.5	1-5	春ABC	水5,6	人社A201	一二三 朋子, 澤田 浩子, 杉本 武, 竹沢 幸一, 沼田 善子, 松崎 寛	応用言語学において基盤となるもの見方や考え方などを、講義を通して深めていく。	
02DT202	応用言語学基礎論B	1	1.5	1-5	秋ABC	随時		一二三 朋子, 澤田 浩子, 杉本 武, 竹沢 幸一, 沼田 善子, 松崎 寛	応用言語学において基盤となるもの見方や考え方などを、議論を通して深めていく。	
02DT237	日本語教育学研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	金4	人社A202	松崎 寛	日本語教育学分野の論文講読を通じ、クリティカルに物事を捉える基礎的な力を身につける。	2018年度より4年おき開講。
02DT238	日本語教育学研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	金4	人社A202	松崎 寛	日本語教育における音声教育方法の改善に役立つ研究論文を取り上げ、検討する。	2018年度より4年おき開講。
02DT247	日本語教育学演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	木4	人社A201	一二三 朋子	日本語教育の論文の中で統計的手法を使ったものを講読し、客観的な研究のあり方について学ぶ。	2018年度より4年おき開講。
02DT248	日本語教育学演習(3B)	2	1.5	1-5	秋AB	応談	人社A201	一二三 朋子	日本語教育研究の中のさまざまなテーマについて客観的な書き方を考える。初回金3人社A201へ集合してください。	2018年度より4年おき開講。
02DT257	日本語構造論研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	金2	人社A620	杉本 武	記述的研究の立場から現代日本語の格等の分析を行いながら、記述的研究のあるべき姿を考える。	2018年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT258	日本語構造論研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	金2	人社A620	杉本 武	コーパスを用いた言語研究の手法を学び、現代日本語のウォイス等の分析を行う。	2018年度より4年おき開講。
02DT267	日本語構造論演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	木5	人社A205	沼田 善子	現代日本語文法の主観性に関する諸現象について考察する。ここでの考察は、他言語との比較対照もできる限り交えながら、日本語教育等への応用を視野に入れて進める。	2018年度より4年おき開講。
02DT268	日本語構造論演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木5	人社A205	沼田 善子	現代日本語の主観性に関する諸現象について、受講者の発表とそれに対する討論を通し考察する。ここでの考察は、他言語との比較対照もできる限り交えながら、日本語教育等への応用を視野に入れて進める。	2018年度より4年おき開講。
02DT277	対照言語学研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	火5	人社A207	澤田 浩子	文法・談話の両領域に関する現象を対象に、言語行動、発話行為についてデータの分析を行う。	2018年度より4年おき開講。
02DT278	対照言語学研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火5	人社A207	澤田 浩子	文法・談話の両領域に関する現象を対象に、言語行動、発話行為について考察を行う。	2018年度より4年おき開講。
02DT287	対照言語学演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	月5	人社A205	竹沢 幸一	統語論に基づく言語間の比較・対照の方法論を学ぶ。	2018年度より4年おき開講。
02DT288	対照言語学演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	月5	人社A205	竹沢 幸一	日本語を中心に言語間の比較・対照を行いながら、人間言語の文法の個性と普遍性について記述的及び理論的に考察を行う。	2018年度より4年おき開講。
02DT405	日本語音韻研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	金5	人社A620	那須 昭夫	音韻理論の基礎的な事項について考察しつつ、実際の音韻現象の分析を行う。毎回の課題について受講者による発表と討議を行う。	2018年度より4年おき開講。 01B4340と同一。
02DT406	日本語音韻研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	金5	人社A620	那須 昭夫	音韻理論の発展的な事項について考察しつつ、実際の音韻現象の分析を行う。毎回の課題について受講者による発表と討議を行う。	2018年度より4年おき開講。 01B4342と同一。
02DT415	日本語文法研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	火3	人社A206	橋本 修	現代日本語・古典日本語の文法論で近年扱われているトピックについて議論する。受講者のオリジナルな論考を提示してもらうこともある。	2018年度より4年おき開講。
02DT416	日本語文法研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火3	人社A206	橋本 修	現代日本語・古典日本語の文法論で近年扱われているトピックについて議論する。受講者のオリジナルな論考を提示してもらうこともある。	2018年度より4年おき開講。
02DT435	日本語史料研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	火4	人社A207	大倉 浩	狂言の日本語史料としての価値を考える。享保15年刊『狂言記拾遺』巻五を読む。	2018年度より4年おき開講。 01B4508と同一。
02DT436	日本語史料研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火4	人社A207	大倉 浩	各流派の狂言台本や現行狂言の映像と『狂言記拾遺』との比較を通して、狂言の日本語史料としての価値を考える。	2018年度より4年おき開講。 01B4509と同一。
02DT445	現代日本語研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	水3	人社A207	矢澤 真人	現代日本語に見られる現象を題材に観察し分析するとともに、言語教育分野における課題と言語研究との関わりについて検討していく。	2018年度より4年おき開講。
02DT446	現代日本語研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	水3	人社A207	矢澤 真人	現代日本語に見られる種々の言語現象について分析するとともに、文法教育と文法研究の関わりについて検討していく。	2018年度より4年おき開講。
02DT480	日本語学演習I(1A)	2	1.0	1-5	春ABC	集中		橋本 修、矢澤 真人、大倉 浩、那須 昭夫	隣接領域との関わりを意識しながら、日本語研究の方法について検討を深める。受講者の研究発表とそれについての討論を中心に進める。	2018年度より4年おき開講。 8/9, 8/10
02DT481	日本語学演習I(1B)	2	1.0	1-5	秋ABC	集中		橋本 修、矢澤 真人、大倉 浩、那須 昭夫	日本語研究の基本的な理念と、実用的な側面の双方について検討する。受講者の研究発表とそれについての討論を中心に進める。	2018年度より4年おき開講。 12/27, 12/28
02DT505	認知意味論(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	月3	人社A207	和田 尚明、廣瀬 幸生	言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として、文法と認知の関係に焦点をあてる。	2018年度より4年おき開講。
02DT506	認知意味論(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	月3	人社A207	和田 尚明、廣瀬 幸生	言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として、文の意味機能と文脈との関係に焦点をあてる。	2018年度より4年おき開講。
02DT515	生成統語論(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	月4	人社A205	加賀 信広、島田 雅晴	英語を中心にいくつかの文法現象を取り上げながら、生成統語論における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として、併合操作に関わる問題に焦点をあてる。	2018年度より4年おき開講。
02DT516	生成統語論(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	月4	人社A205	加賀 信広、島田 雅晴	英語を中心にいくつかの文法現象を取り上げながら、生成統語論における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として、削除現象に焦点をあてる。	2018年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT525	英語意味論演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	木4	人社A206	廣瀬 幸生, 和田尚明, 金谷 優	認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、認知言語学の論文を中心に行なう。	2018年度より4年おき開講。
02DT526	英語意味論演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木4	人社A206	廣瀬 幸生, 和田尚明, 金谷 優	認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、語用論・機能論の論文を中心に行なう。	2018年度より4年おき開講。
02DT535	英語統語論演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	木5	人社A206	島田 雅晴, 加賀信広	生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、関係節に関する論文を中心に行なう。	2018年度より4年おき開講。
02DT536	英語統語論演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	木5	人社A206	島田 雅晴, 加賀信広	生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、数量表現に関する論文を中心に行なう。	2018年度より4年おき開講。
02DT545	英語学特講(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	木3	人社A206	金谷 優	英語学研究を進めるうえで必要な言語学的知識、英語の読解力・表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。特に、基礎的な表現力・発信力の充実を図る。	2018年度より4年おき開講。
02DT546	英語学特講(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	木3	人社A206	金谷 優	英語学の文献を教材として用いながら、修士論文執筆以前の大学院生が英語学研究を進めるうえで必要な言語学的知識、英語の読解力・表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。特に、読解力の強化を図る。	2018年度より4年おき開講。 01B8324と同一。
02DT605	フランス語学研究(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	月5	人社B511	青木 三郎	現代フランス語研究の意義を明確にし、独自性のある研究とは何かを考察する。 日本語とフランス語使用	2018年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT606	フランス語学研究(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	月5	人社B511	青木 三郎	独自性のある文法研究を視野にして、統語論・意味論・語用論の関係を捉える。  日本語とフランス語使用	2018年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT615	フランス語学演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	月6	人社B511	青木 三郎	発話マーカ―を通じて、言語主観性について具体的な分析を行う。 日本語とフランス語使用	2018年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT616	フランス語学演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	月6	人社B511	青木 三郎	発話マーカ―を通じて、発話間の連結に関するメカニズムについて分析する。 日本語とフランス語使用	2018年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT625	フランス語意味論(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	火5	人社B512	渡邊 淳也	フランス語意味論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、モダリティに重点をおく。	2018年度より4年おき開講。
02DT626	フランス語意味論(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火5	人社B512	渡邊 淳也	フランス語意味論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、モダリティとアスペクトとのかかわりに重点をおく。	2018年度より4年おき開講。
02DT635	フランス語文法論(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	火4	人社B512	渡邊 淳也	フランス語文法論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、動詞時制に重点をおく。	2018年度より4年おき開講。
02DT636	フランス語文法論(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火4	人社B512	渡邊 淳也	フランス語文法論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、非定形動詞に重点をおく。	2018年度より4年おき開講。
02DT645	フランス語学特講(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	水2	人社A408	木田 剛	「語用論の方法論研究」フランス語を中心に語用論の基本文献に触れながら基本概念を学ぶと同時に、具体的なコーパスの観察を通して研究方法を考察する。	2018年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT646	フランス語学特講(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	水2	人社A408	木田 剛	「語用論の実践」フランス語のプロゾディアやジェスチャーについて、関連する文献に触れながら、具体的なコーパスの観察を通して、語用論を応用する研究方法を考察する。	2018年度より4年おき開講。 フランス語で授業。
02DT715	ドイツ語学演習(3A)	2	1.5	1-5	春ABC	金4	人社B505	大矢 俊明	ドイツ語学に関する文献を講読しながら、個々の問題について議論する。	2018年度より4年おき開講。
02DT716	ドイツ語学演習(3B)	2	1.5	1-5	秋ABC	金4	人社B505	大矢 俊明	ドイツ語学に関する文献を講読しながら、言語比較の問題について議論する。	2018年度より4年おき開講。
02DT725	ドイツ語意味論(3A)	1	1.5	1-5	春ABC	火2	人社A610	伊藤 眞	対照言語学的観点からドイツ語と日本語の語彙をさまざまな角度から比較分析する。あわせてドイツ語文法知識の習得にも力を入れる。	2018年度より4年おき開講。
02DT726	ドイツ語意味論(3B)	1	1.5	1-5	秋ABC	火2	人社A610	伊藤 眞	対照言語学的観点からドイツ語と日本語の語彙をさまざまな角度から比較分析し、その共通点と相違点を探る。あわせて、文献精読能力の向上にも力を入れる。	2018年度より4年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DT735	ドイツ語文法論(3A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	金3	人社B505	大矢 俊明	現代ドイツ語におけるさまざまな構文を、関連文献を読みながら分析する。	2018年度より4年おき開講。
02DT736	ドイツ語文法論(3B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	金3	人社B505	大矢 俊明	現代ドイツ語におけるさまざまな構文を、おもに英語や日本語と比較対照しながら議論する。	2018年度より4年おき開講。
02DT745	ドイツ語史研究(3A)	1	1.5	1 - 5	春ABC	水2	人社A610	伊藤 眞	専門文献を精読しながら、文献精読能力の向上を図る。	2018年度より4年おき開講。
02DT746	ドイツ語史研究(3B)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	水2	人社A610	伊藤 眞	専門文献を精読する。教壇に立つことを想定した高度な文法知識の習得にも力を入れる。	2018年度より4年おき開講。
02DT803	形態論特講(3)	1	1.5	1 - 5	春ABC	木2	人社A201	田川 拓海	屈折形態論・派生形態論の研究における主要な理論・モデルや概念がどのような言語現象の分析において問題になるのか具体的に検討する。英語・日本語を中心に様々な言語を取り上げる。	2018年度より4年おき開講。
02DT808	文法論特講(3)	1	1.5	1 - 5	秋ABC	火6	人社A201	石田 尊	現代日本語の受動文を中心的な考察対象として、ヴォイスと他動性をめぐるいくつかの問題を検討していく。取り上げた問題に対する受講者の分析を提示してもらった場合がある。	2018年度より4年おき開講。